

臨床研究に関するお知らせ

宮崎大学医学部附属病院整形外科では、下記の臨床研究を実施しています。皆様には本研究の趣旨をご理解いただき、ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

研究課題名：寛骨臼形成不全における関節唇損傷に関する研究

1. 研究の概要

寛骨臼形成不全 (Developmental Dysplasia of the Hip: DDH) は、寛骨臼被覆の不十分さにより股関節の構造的不安定性を呈し、関節唇や軟骨に過度な機械的負荷を生じさせることで、早期の変性変化や痛みの発生に繋がることが知られています。関節唇は、関節の負荷分散や安定性の補助、関節内陰圧の保持といった重要な役割を担っており、その構造破綻は関節内圧の変化を引き起こし、股関節全体の力学的バランスを崩す可能性があります。

本研究では、CT, MRI を用いて構築した正常股関節および寛骨臼形成不全モデルに、関節唇損傷を設定しコンピューターシミュレーションを用いて、関節唇への応力分布および接触特性の変化を明らかにすることを目的としています。

● 本学の実施体制

【研究責任者】

宮崎大学医学部感覚運動医学講座整形外科学分野 亀井 直輔

2. 目的

この研究の目的は、「股関節の関節唇が傷ついたときに、関節の中でどのように力がかかるか」を調べることです。過去に撮影された MRI 画像や、必要に応じて新たに撮影した画像をもとに、股関節の立体モデルを作り、コンピューターで力の流れや圧力を解析します。関節唇がある場合とない場合でどのように違うのか、また、正常な股関節と比べてどのような問題があるのかを比較します。この研究によって、より適切な治療の選択や、手術の時期を判断する手がかりが得られることを目指しています。

3. 研究実施予定期間

この研究は、以下の期間において実施されます。

研究機関の長による実施許可日から 2029 年 3 月 31 日まで

4. 対象者

研究対象者は 18 ～ 50 歳で 1990 年 1 月 1 日 ～ 2025 年 3 月 31 日に当科外来にて MRI を撮像した方となります。

5. 方法

本研究で収集するデータは、対象患者の基本データ(年齢、性別、身長、体重)や診断名、過去の治療記録および X-P 画像及び CT 画像、MRI 画像データ等になります。

本研究のために特別な機器やデータ収集はおこないません。また、試料の採取はおこないません。

6. 費用負担

この研究を行うにあたり、対象となる方が新たに費用を負担することは一切ありません。

7．利益および不利益

この研究にご参加いただいた場合の利益・不利益はありません。参加を拒否された場合でも同様です。

8．個人情報の保護

研究にあたっては、対象となる方の個人情報を容易に特定できないように、数字や記号などに置き換えて使用いたします。

9．研究に関する情報開示について

ご希望があれば、研究計画および研究方法についての資料を閲覧することができます。ご希望がある場合は、下記連絡先へ遠慮無く申し出てください。ただし、個人情報保護や研究の独創性確保（あるいは、特許に関わる事象）に支障のない範囲内で情報開示を行います。

10．研究資金および利益相反について

この研究に関する経費は、研究責任者が所属する診療科の研究費で賄われます

本研究は、企業および団体等と経済的な関与がないため、申告すべき利益相反はありません。

注1）臨床研究における利益相反とは、研究者が当該臨床研究に関わる企業および団体等から経済的な利益（謝金、研究費、株式、医薬品・医療機器、検査・解析サービス等）の提供を受け、その利益の存在により臨床研究の結果に影響を及ぼす可能性がある状況のことをいいます。

11．研究成果の公表

この研究で得られた研究成果を学会や医学雑誌等において発表します。この場合でも個人を特定できる情報は一切利用しません。

12．参加拒否したい場合の連絡先

この研究に参加したくない（自分のデータを使ってほしくない）方は下記連絡先へ遠慮無く申し出てください。しかしながら、データ解析後、もしくは学会等で発表後は途中辞退することができない場合もあります。

13．疑問、質問あるいは苦情があった場合の連絡先

この研究に関して疑問、質問あるいは苦情があった場合は下記連絡先へ連絡をお願いいたします。

宮崎大学医学部附属病院整形外科

氏名 帖佐 直紀

電話：0985-85-0986

FAX：0985-85-2931